

8. 学部・学科ポリシー／卒業要件／履修科目一覧

薬学部

8-8 薬学科

8-8 薬学部 薬学科

8-8-1 教育研究上の目的

薬学部の教育研究上の目的

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担いうる应用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

薬学部薬学科の教育研究上の目的

薬学科は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、「くすり」に対する専門的な知識と、臨床現場で発揮される高い能力、技術を備え、調剤した「くすり」の適切な説明や薬物療法について、的確なアドバイスができる薬剤師の育成を目的とする。

8-8-2 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、薬剤師として、豊かな心、コミュニケーション能力、新しい知識の追求に向けた関心や意欲を持ち、日々進化する薬物療法における高度化・専門化及び国際化に対応し、学びを深めるための科学的根拠に基づく論理的な思考力を身につけることが期待できる人

2. 薬学科の入学者に求める要件

1) 知識・技能

高等学校等で学んだ教科に相応した基礎知識と、化学等の理数系科目の修得を通して身につけた科学的な思考力・理解力、また、語学系科目（英語）の修得を通して身につけた読解力を有していること。

2) 思考力・判断力・表現力

薬剤師に必要な新しい知識を学ぶ意欲及び主体的な目標設定をもとに努力を継続する力、自ら思考し、判断したことを適切に表現する力を有していること。

3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、薬剤師として「共に生きる社会」の実現に寄与する意志を持つ人、他者と協調的に連携を図り、地域とのつながりを大切に考え、薬学の発展に貢献したいという強い意欲をもとに自他ともに研鑽しあう意志を持つ人であること。

8-8-3 ディプロマ・ポリシー

薬学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。

DP2：問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき論理的に考え行動できる。

DP3：医療人を目指す者として、人間理解、国際的感覚を養い、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。

DP4：薬剤師を目指す者として、使命感・倫理観・責任感を養い、他職種との連携を通して薬剤師の役割を理解、実践できる。

DP5：保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の情勢を広く理解し、地域に貢献する姿勢と実践能力を有している。

DP6：医療の担い手を目指す者として、幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自他ともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。

DP7：生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。

8-8-4 カリキュラム・ポリシー

薬学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1 :

- a.薬学の専門家として必要な知識・技能を修得するために、講義、演習、実習を相互に関連付けて科目を配置する。
- b.薬物治療の実践的能力を高めるために、知識・技能を統合した能動的学修を実施する。

CP2 :

- a.問題発見から解決する能力および科学的根拠に基づいた論理的思考力を養うために、問題解決型学修（PBL）をはじめとする能動的学修を講義、演習、実習で実施する。また、参加型実践的科目として卒業研究を配置する。
- b.薬剤師として臨床での総合的実践能力を身につけるために、参加体験型学修である実務実習を行う。

CP3 :

- a.医療人としてのコミュニケーション能力を養成するために、ロールプレイを含む参加型実習を行う。
- b.薬剤師の役割を理解するために、他職種との連携教育を実施する。

CP4 :

- a.薬剤師としての使命感・倫理観・責任感および豊かな人間性を涵養するために、スモールグループディスカッション（SGD）等を含めた講義、演習、体験実習を配置する。
- b.国際的な感覚を養うために、世界の保健福祉事情に触れ、語学能力を高める機会を設ける。
- c.生涯にわたり自ら研鑽できる医療の担い手になるために、ポートフォリオを用いた形式的自己評価の機会を設ける。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

8-8-5 教育目標

<1 年次>

- ・薬学で必要となる基礎科目（化学系・物理系・生物系）の知識・技能を修得するとともに、問題発見から解決のプロセスに関する知識を修得する。（CP1a, CP2a）
- ・社会人・医療人としてのコミュニケーションに関する知識を修得する。（CP3a）
- ・薬剤師を含む医療職の職能を理解するとともに、薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養う。（CP3b, CP4a）
- ・総合教育科目（人間系、社会系、自然・情報系、総合系）を通して幅広い教養を身につけ、豊かな人間性を育む。（CP4a）
- ・外国語を学修するとともに、海外の保健福祉事情に触れる。（CP4b）

<2 年次>

- ・基礎薬学科目の知識・技能を広く修得するとともに、衛生薬学・医療薬学科目の知識・技能を修得する。（CP1a）
- ・与えられた課題に関するデータを能動的に収集・分析・考察する能力を修得する。（CP2a）
- ・コミュニケーション実習を通してコミュニケーションスキルの基礎を修得する。（CP3a）
- ・多職種の中での薬剤師の役割を理解する。（CP3b）
- ・語学能力を高め、医療英語を修得する。（CP4b）

<3 年次>

- ・衛生薬学・医療薬学科目の知識・技能を広く修得する。（CP1a）
- ・与えられた課題に関するデータを能動的に収集・分析・考察する能力を修得する。（CP2a）
- ・医療コミュニケーションを修得するとともに、多職種の中での薬剤師の役割を実践することで専門領域を超えて問題を探究する姿勢を身につけ、薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養う。（CP3a, CP3b, CP4a）
- ・組換えDNA・動物実験教育訓練を通して実習および卒業研究で必要となる研究倫理を理解する。（CP4a）
- ・海外の保健福祉事情を知る。（CP4b）

<4 年次>

- ・基礎薬学、衛生薬学、医療薬学を関連付けて修得する。（CP1a）
- ・4年次までに修得した知識・技能を活用し、薬物治療を適切に評価する。（CP1b）
- ・自ら問題を発見し、解決に必要なデータを能動的に収集・分析・考察する能力を修得する。（CP2a）
- ・医療コミュニケーションを修得するとともに、多職種の中での薬剤師の役割を実践することで専門領域を超えて問題を探究する姿勢を身につけ、薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養う。（CP3a）
- ・研究倫理講習を通して卒業研究で必要となる研究倫理への理解を深める。（CP4a）

<5 年次>

- ・実務実習（病院・薬局）を通して薬剤師（実習生）として使命感・倫理観・責任感をもって行動するとともに、臨床で必要となる実践的能力を身につける。（CP1b, CP2b, CP4a）
- ・科学的根拠に基づいて課題を発見したり、問題点を解決する能力を修得する。（CP2a）
- ・英語による医療コミュニケーションを実践する。（CP3a, CP4b）

<6 年次>

- ・薬学に関する全ての知識を統合し、患者に対する適切な薬物治療を選択・実践できる応用力を修得する。（CP1a, CP1b）
- ・科学的根拠に基づいて課題を発見したり、問題点を解決する能力を修得する。（CP2a）
- ・卒業研究発表および実務実習報告会などを通して取り組んだ問題、課題などを薬学的知見および科学的根拠に基づいてまとめ、プレゼンテーションする能力を修得する。（CP2a）
- ・学内での講義・演習・実習および実務実習（病院・薬局）で養った薬剤師としての倫理観・責任感・使命感を総合的に身につける。（CP4a）

8-8-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-8-9 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【薬学科 2024（令和6）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数	
		必修	選択
総合教育科目	人間系	4単位	総合教育科目から3単位以上 (外国語系から3単位以上または5単位以上) ※1
	社会系	3単位	
	自然・情報系	8単位	
	総合系	1単位	
	外国語系	4単位 (5単位) ※1	
	保健体育系		
	小計	20単位 (21単位) ※1	3単位以上 (3単位以上または5単位以上) ※1
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	5単位
		学科専門基礎	12単位
		小計	17単位
	専門科目	142単位	
	小計	159単位	9単位以上 (8単位以上) ※1
合計		179単位 (180単位) ※1	12単位以上 (11単位以上または13単位以上) ※1
総計		191単位以上 (191単位以上または193単位以上) ※1	

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

履修すべきすべての必修科目 179 単位（留学生は 180 単位）を修得していること。必修科目と選択科目の総単位数が 191 単位以上（留学生は 191 単位以上または 193 単位以上）である場合には卒業できる。

8-8-7 進級条件

【進級条件（留学生以外）】

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

- ① 1 学年必修科目(34単位)のうち、すべての実習科目(2単位)を含む28単位以上修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

- ① 1 学年必修科目(34単位)のすべてを修得していること。
- ② 2 学年必修科目(43単位)のうち、すべての実習科目(4単位)を含む37単位以上修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(3) 3 学年から 4 学年への進級条件

- ① 2 学年までの必修科目(77単位)のすべてを修得していること。
- ② 3 学年必修科目(40単位)のうち、すべての実習科目(4単位)を含む34単位以上修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(4) 4 学年から 5 学年への進級条件

- ① 3 学年までの必修科目(117単位)のすべてを修得していること。
- ② 4 学年必修科目27単位のうち、「臨床薬学Ⅳ(チーム医療・地域医療の実践その前に)を除く26単位のすべてを修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

進級した場合：

前年次の不合格必修科目については、受講し、定期試験を受け、単位を修得すること。

留年した場合：

- ① 合格した科目の単位は認められる。
- ② 不合格の必修科目は再履修しなければならない。
- ③ 不合格になった選択科目は、新たに希望して選択するものとする。
- ④ 在学年限について：同一学年における在学年数を 2 年以内とする(休学期間を除く)。但し、5、6 学年は通算で 4 年間在籍できる。

【留学生の進級条件】

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

- ① 1 学年で履修できる外国語系科目を除く必修科目32単位と日本語科目2単位（必修/選択を問わない）を合わせた34単位のうち、すべての実習科目（2単位）を含む28単位以上の必修科目を修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

- ① 1 学年で履修できる必修科目のうち34単位を修得していること。
※2学年終了時までには日本語必修科目2単位の修得が必要である。
- ② 2 学年で履修できる必修科目43単位（日本語必修科目2単位含む）のうち、すべての実習科目（4単位）を含む37単位以上修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(3) 3 学年から 4 学年への進級条件

- ① 2 学年までに履修できる必修科目77単位を修得していること。
※3学年終了時までには日本語必修科目4単位の修得が必要である。
- ② 3 学年で履修できる必修科目40単位のうち、すべての実習科目（4単位）を含む34単位以上修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(4) 4 学年から 5 学年への進級条件

- ① 3 学年までに履修できる必修科目117単位を修得していること。
- ② 4 学年必修科目27単位のうち、「臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）を除く26単位のすべてを修得していること。
- ③ 4 学年終了時までには日本語必修科目5単位すべてを修得していること。
- ④ 以上、①②③のすべての条件を満たしていること。

進級した場合：

前年次の不合格必修科目については、受講し、定期試験を受け、単位を修得すること。

留年した場合：

- ① 合格した科目の単位は認められる。
- ② 不合格の必修科目は再履修しなければならない。
- ③ 不合格になった選択科目は、新たに希望して選択するものとする。
- ④ 在学年限について：同一学年における在学年数を2年以内とする(休学期間を除く)。但し、5、6学年は通算で4年間在籍できる。

8-8-8 科目履修条件

(1) 5、6 学年において実務実習を履修するための条件

- ① 共用試験 (CBT、OSCE) に合格すること。
- ② 実務実習生にふさわしい知識・技能・態度のバランスがとれていること。

☑ CHECK ☑

共用試験 (CBT、OSCE)

- CBT : Computer Based Testing
- OSCE : Objective Structured Clinical Examination

共用試験 (CBT、OSCE) は、5、6 年次に実施される実務実習を履修するための条件となる。

- 共用試験の中のCBTは知識を問う試験で、コンピュータを活用した多肢選択式試験となっています。薬学教育モデル・コアカリキュラムの範囲から多くの問題が備蓄されており、無作為に出題される310問を6時間で解きます。
- 共用試験の中のOSCEは参加型実務実習 (病院・保険薬局) を行うにあたって、必要とされる態度・技能 (臨床能力) がためされる実技試験であり、6種類のステーションの中にそれぞれ、課題が含まれています。

(2) 日本語科目の履修条件 (留学生のみ)

- 1 学年：日本語プレイスメントテストの結果により、レベルに合った科目を 2 科目以上履修すること
- 2 学年：日本語必修科目を 2 科目以上履修すること
2 学年終了時までには日本語必修科目を 2 単位以上修得していること
- 3 学年：3 学年終了時までには日本語必修科目を 4 単位以上修得していること
- 4 学年：4 学年終了時までには日本語必修科目 5 科目をすべて修得すること

8-8-9 授業科目一覧（総合教育科目：薬学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
人間系	文学論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	演劇論	1 2 3 4 5 6		1	15	
	心理学	1		2	30	
	哲学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	コミュニケーション概論	1		2	30	
	雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4 5 6		2	30	
	人間学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	歴史学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	倫理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	宗教学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	日本近現代史	1 2 3 4 5 6		2	30	
	文化人類学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	教育学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	教育方法論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	死生学-死を通して生を考える-	1 2 3 4 5 6		2	30	
生きがい論	1 2 3 4 5 6		2	30		
社会系	法学	1		2	30	
	日本国憲法	1 2 3 4 5 6		2	30	
	法と道徳・倫理	1 2 3 4 5 6		2	30	
	社会学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	日本政治経済論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	マスメディア論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	福祉経済学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4 5 6		2	30	
	国際関係論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	世界の経済	1 2 3 4 5 6		2	30	
	国際医療福祉論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	組織運営管理論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	海外保健福祉事情	1 2 3 4 5 6		2	30	
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	4		1	30	
	地球環境論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	ボランティア論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	ボランティアコーディネート論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	手話入門	1 2 3 4 5 6		2	30	
経済の仕組み	1 2 3 4 5 6		2	30		
経済の歴史	1 2 3 4 5 6		2	30		
自然・情報系	統計学	1		2	30	必修科目として別にあるため選択しないこと
	疫学・保健医療統計学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	数学	1		2	30	
	物理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	化学	1		2	30	
	生物学	1		2	30	
	コンピュータの基礎	1 2 3 4 5 6		2	30	
	データリテラシー	1		1	30	
	医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4 5 6		1	30	
	医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4 5 6		1	30	
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1		1	30	
	医学/医療史	1 2 3 4 5 6		2	30	
	人間工学	1 2 3 4 5 6		2	30	
総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30	
	郷土論～栃木学～	1 2 3 4 5 6		1	15	
	医療福祉教養講義	1 2 3 4 5 6		1	15	
	メディカルマナー入門	1 2 3 4 5 6		2	30	
	総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1 2 3 4 5 6		1	15	
	総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4 5 6		1	15	
	食と人間	1 2 3 4 5 6		1	15	
	人間と性	1 2 3 4 5 6		1	15	
	持続可能な発展	1 2 3 4 5 6		2	30	
	読書ゼミナール	1 2 3 4 5 6		1	15	
	現代医療福祉事情	1 2 3 4 5 6		1	15	
ボランティア実践	1 2 3 4 5 6		1	15		

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考		
			必修	選択				
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1		1	30		
		英語講読 2 (Basic)	2		1	30		
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30		
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30		
		英語 CALL1 (Primary)	1		1	30		
		英語 CALL2 (Basic)	2		1	30		
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1	30		
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1	30		
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4 5 6		1	30		
		フランス語入門	1 2 3 4 5 6		1	30		
		フランス語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30		
		ドイツ語入門	1 2 3 4 5 6		1	30		
		ドイツ語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30		
		スペイン語入門	1 2 3 4 5 6		1	30		
		スペイン語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30		
		中国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30		
		中国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30		
		韓国語入門	1 2 3 4 5 6		1	30		
		韓国語基礎	1 2 3 4 5 6		1	30		
		韓国語応用	1 2 3 4 5 6		1	30		
		韓国語発展	1 2 3 4 5 6		1	30		
		保健	健康科学理論	1 2 3 4 5 6		1	15	
		体育系	健康科学実践	1 2 3 4 5 6		1	30	

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する
「8-9-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

8-8-9 授業科目一覧（専門教育科目：薬学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	3		2	30	必修科目として別にあるため選択しないこと
	救急医学	3 4		1	15	
	微生物と病気	1 2 3 4 5 6		2	30	
	リハビリテーション概論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	関連職種連携論	2	2		30	
	看護論	1		2	30	
	ケアマネジメント論	2 3 4 5 6		1	15	
	ケースワーク論	1 2 3 4 5 6		1	15	
	医療管理学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4 5 6		2	30	
	社会福祉学	1 2 3 4 5 6		2	30	
	臨床心理学概論	1		2	30	
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30	
	関連職種連携ワーク	3	1		30	
	関連職種連携実習	5		1	45	
	リスクマネジメント論	3 4 5 6		2	30	
	電子カルテシステム入門	2 3 4 5 6		1	15	
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4 5 6		1	15	
	レクリエーション概論	2 3 4 5 6		1	15	
専門基礎	医療関連法規Ⅰ（医薬品全般に関わる法律）	3	1		15	
	医療関連法規Ⅱ（医薬品開発と薬害に関する法律の理解）	4	1		15	
	薬学演習Ⅰ（物理・化学・生物：基礎）	2	1		30	
	薬学演習Ⅱ（物理・化学・生物：応用）	3	1		30	
	薬学演習Ⅲ（医療倫理・ヒューマニズム）	3	1		30	
	病原微生物学	2	2		30	
	コミュニケーション実習	2	1		45	
	基礎薬学実習	1	1		45	
	公衆衛生学Ⅰ（保健統計、疫学、制度）	2	2		30	
	公衆衛生学Ⅱ（感染症と予防）	3	1		15	
専門教育科目	薬学概論	1	2		30	
	基礎統計学	1	1		15	
	有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	1	2		30	
	有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）	2	2		30	
	有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2	2		30	
	生物有機化学	3	1		15	
	生薬学	2	2		30	
	天然物化学	2	1		15	
	医薬品構造化学Ⅰ（コア構造と作用機構）	4	1		15	
	医薬品構造化学Ⅱ（代表的医薬品の構造と作用）	6	1		15	
	医薬品構造解析演習	2	1		30	
	有機化学演習	1		1	30	
	分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）	1	2		30	
	分析化学Ⅱ（機器分析）	2	2		30	
	分析化学Ⅲ（分離分析と臨床分析）	3	2		30	
	薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	1	2		30	
	薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）	2	2		30	
	放射化学	2	2		30	
	生化学Ⅰ（生体分子）	1	2		30	
	生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）	2	2		30	
	分子生物学	2	2		30	
	細胞生物学	2	1		15	
	解剖生理学Ⅰ（器官系概論、神経系等）	1	2		30	
	解剖生理学Ⅱ（循環器系、消化器系等）	2	2		30	
	がん薬物療法学	3	2		30	
	ゲノム医療	3	1		15	
	化学療法学	3	2		30	
	免疫学	3	2		30	
	疾病と病態生理学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	2	2		30	
	疾病と病態生理学Ⅱ（循環器系疾患、消化器系疾患等）	2	2		30	
	薬理学Ⅰ（総論）	2	1		15	
	薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	2	2		30	
	薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等）	3	2		30	
	薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	3	1		15	
	医薬品安全性学	4	2		30	
	臨床検査医学	4	2		30	

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考
			必修	選択		
専門教育科目	薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4	2		30	
	薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4	2		30	
	薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6	1		30	
	物理薬剤学	3	1		15	
	製剤設計とDDS	3	2		30	
	臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3	2		30	
	臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4	2		30	
	臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4	2		30	
	臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4 5	1		15	
	薬物動態学	3	2		30	
	臨床薬物動態学	4	2		30	
	医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3	2		30	
	医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4	1		15	
	衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2	2		30	
	衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2		30	
	環境衛生学	3	2		30	
	日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	3	1		15	
	日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）	6	1		15	
	漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2		30	
	漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4		1	15	
	OTC 医薬品概論	3	2		30	
	医療データサイエンス概論	4	1		15	
	医療データサイエンス演習	6	1		30	
	医薬品レギュラトリーサイエンス概論	6	1		15	
	化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1		45	
	化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1		45	
	物理系薬学実習	2	1		45	
	生物系薬学実習	3	1		45	
	分子生物学実習	3	1		45	
	免疫微生物学実習	3	1		45	
	薬剤学実習	4	1		45	
	フィジカルアセスメント実習	4	1		45	
	衛生系薬学実習	3	1		45	
	早期体験実習	1	1		45	
	医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4	1		45	
	医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1		45	
	医療系薬学実習Ⅲ（実務実習に必要な基本的技能）	4	1		45	
	実務実習事前演習	4	2		60	
	薬局実務実習	5 6	10		450	
	病院実務実習	5 6	10		450	
総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6	1		30		
総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6	1		30		
卒業研究	5 6	8		360		
先進臨床薬学実習	6		1	45		

薬学科DP-教育目標カリキュラムマップ【2024(令和6)年度以降入学生版】

- : ヒューマニズム教育
- : 医療倫理教育
- : 語学教育
- : 医療安全教育
- : 問題解決能力醸成教育
- (AL): アクティブラーニングを含む
- 水色文字は選択科目

		ディプロマ・ポリシー(DP)						
		[DP1] 薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。	[DP2] 問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき、論理的に考え、行動できる。	[DP3] 医療人としての人間理解、国際的感覚を養い、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。	[DP4] 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養い、他職種との連携を通して薬剤師の役割を理解、実践できる。	[DP5] 保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の情勢を広く理解し、地域に貢献する姿勢と実践能力を有している。	[DP6] 医療の担い手として幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自他ともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。	[DP7] 生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。
1 年 次	[CP1a, CP2a] 薬学で必要となる基礎科目(化学系・物理系・生物系)の知識・技能を修得するとともに、問題発見から解決のプロセスに関する知識を修得する。	[DP1/CP1a, CP2a] 基礎統計学、数学、分析化学Ⅰ、薬品物理化学Ⅰ、化学、有機化学Ⅰ、有機化学演習(AL)、生物学、生化学Ⅰ、解剖生理学Ⅰ、物理学	[DP2/CP1a, CP2a] 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために- ●●●(AL)、データリテラシー、化学、基礎薬学実習(AL)、有機化学演習(AL)	[DP3/CP1a, CP2a]	[DP4/CP1a, CP2a]	[DP5/CP1a, CP2a]	[DP6/CP1a, CP2a] 有機化学演習(AL)	[DP7/CP1a, CP2a]
	[CP3a] 社会人・医療人としてのコミュニケーションに関する知識を修得する。	[DP1/CP3a]	[DP2/CP3a]	[DP3/CP3a] コミュニケーション概論●●、臨床心理学概論●●、有機化学演習(AL)	[DP4/CP3a]	[DP5/CP3a]	[DP6/CP3a]	[DP7/CP3a]
	[CP3b, CP4a] 薬剤師を含む医療職の職能を理解するとともに、薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養う	[DP1/CP3b, CP4a]	[DP2/CP3b, CP4a]	[DP3/CP3b, CP4a]	[DP4/CP3b, CP4a] 薬学概論●●●(AL)、早期体験実習●●●●(AL)、大学入門講座-医療人・社会人として成長するために- ●●●(AL)、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報●●●●●(AL)	[DP5/CP3b, CP4a]	[DP6/CP3b, CP4a] 微生物と病気、リハビリテーション概論、看護論、ケースワーク論、医療管理学、保健医療福祉制度論、社会福祉学、福祉支援工学概論	[DP7/CP3b, CP4a]
	[CP4a] 総合教育科目(人間系、社会系、自然・情報系、総合系)を通して幅広い教養を身につけ、豊かな人間性を育む。	[DP1/CP4a]	[DP2/CP4a]	[DP3/CP4a]	[DP4/CP4a]	[DP5/CP4a]	[DP6/CP4a] 法学、データリテラシー、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報●●●●●(AL)、心理学●●、文学論、演劇論、哲学、雑談と傾聴~話す力と聴く力~、人間学、歴史学、倫理学●●、宗教学、日本近現代史、文化人類学、教育学、教育方法論、死生学-死を通して生を考える-●●、生きがい論●●、日本国憲法、法と道徳・倫理●●、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、福祉経済学、アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、国際医療福祉論、組織運営管理論、海外保健福祉事情●●、地球環境論、ボランティア論●●、ボランティアコーディネート論、手話入門、経済の仕組み、経済の歴史、疫学・保健医療統計学、コンピュータの基礎、医学/医療史、人間工学、郷土論~栃木学~、医療福祉教養講義、メディカルマナー入門、総合講義~超高齢社会で認知症と向き合う~、総合講義(現代社会をどう見るか)、食と人間●●、人間と性●●、持続可能な発展、読書ゼミナール、現代医療福祉事情、ボランティア実践、健康科学理論、健康科学実践	[DP7/CP4a]
	[CP4b] 外国語を学修するとともに、海外の保健福祉事情に触れる。	[DP1/CP4b]	[DP2/CP4b]	[DP3/CP4b]	[DP4/CP4b]	[DP5/CP4b] 英語講義1●●、英語CALL1●●、英語会話1●●、英語会話2●●、聖書英語1●●、聖書英語2●●、医学英語1●●、医学英語2●●、英語リスニング1●●、英語リスニング2●●、英語ライティング1●●、英語ライティング2●●、英語医療通訳入門1●●、英語医療通訳入門2●●、資格英語1●●、資格英語2●●、基礎英文法1●●、基礎英文法2●●、上級英語会話1●●、上級英語会話2●●、フランス語入門●●、フランス語基礎●●、ドイツ語入門●●、ドイツ語基礎●●、スペイン語入門●●、スペイン語基礎●●、中国語入門●●、中国語基礎●●、韓国語入門●●、韓国語基礎●●、韓国語応用●●、韓国語発展●● 海外保健福祉事情の報告会参加(準正規科目)	[DP6/CP4b]	[DP7/CP4b]
2 年 次	[CP1a] 基礎薬学科目の知識・技能を広く修得するとともに、衛生薬学・医療薬学科目の知識・技能を修得する。	[DP1/CP1a] 分析化学Ⅱ、薬品物理化学Ⅱ、放射化学、生薬学、天然物化学、有機化学Ⅱ、有機化学Ⅲ、医薬品構造解析演習(AL)、物理系薬学実習(AL)、化学系薬学実習Ⅱ(AL)、生化学Ⅱ、分子生物学、細胞生物学、解剖生理学Ⅱ、病原微生物学、疾病と病態生理学Ⅰ、疾病と病態生理学Ⅱ、薬理学Ⅰ、薬理学Ⅱ、衛生化学Ⅰ、公衆衛生学Ⅰ、薬学演習Ⅰ(AL)	[DP2/CP1a] 有機化学Ⅱ、有機化学Ⅲ、物理系薬学実習(AL)、化学系薬学実習Ⅰ(AL)、化学系薬学実習Ⅱ(AL)	[DP3/CP1a]	[DP4/CP1a]	[DP5/CP1a]	[DP6/CP1a] 医療データサイエンスⅠ(DS基礎)、医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	[DP7/CP1a] 薬理学Ⅰ、薬理学Ⅱ
	[CP2a] 与えられた課題に関するデータを能動的に収集・分析・考察する能力を修得する。	[DP1/CP2a]	[DP2/CP2a] 物理系薬学実習(AL)、化学系薬学実習Ⅰ(AL)、化学系薬学実習Ⅱ(AL)、医療データサイエンスⅠ(DS基礎)、医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	[DP3/CP2a]	[DP4/CP2a]	[DP5/CP2a]	[DP6/CP2a] エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	[DP7/CP2a]
	[CP3a] コミュニケーション実習を通してコミュニケーションスキルの基礎を修得する。	[DP1/CP3a]	[DP2/CP3a]	[DP3/CP3a] コミュニケーション実習●●●(AL)	[DP4/CP3a]	[DP5/CP3a]	[DP6/CP3] コミュニケーション実習●●●(AL)	[DP7/CP3a]
	[CP3b] 多職種の中での薬剤師の役割を理解する。	[DP1/CP3b]	[DP2/CP3b]	[DP3/CP3b]	[DP4/CP3b] 関連職種連携論●●	[DP5/CP3b]	[DP6/CP3b] 関連職種連携論●●、ケアマネジメント論、電子カルテシステム入門、レクリエーション概論	[DP7/CP3b]
	[CP4b] 語学能力を高め、医療英語を修得する。	[DP1/CP4b]	[DP2/CP4b]	[DP3/CP4b]	[DP4/CP4b]	[DP5/CP4b] 英語講義2●●、英語CALL2●●、英語講義3●●、英語講義4●●、英語会話1●●、英語会話2●●、英語会話3●●、英語会話4●●、聖書英語1●●、聖書英語2●●、医学英語1●●、医学英語2●●、英語リスニング1●●、英語リスニング2●●、英語ライティング1●●、英語ライティング2●●、英語医療通訳入門1●●、英語医療通訳入門2●●、資格英語1●●、資格英語2●●、基礎英文法1●●、基礎英文法2●●、上級英語会話1●●、上級英語会話2●●、フランス語入門●●、フランス語基礎●●、ドイツ語入門●●、ドイツ語基礎●●、スペイン語入門●●、スペイン語基礎●●、中国語入門●●、中国語基礎●●、韓国語入門●●、韓国語基礎●●、韓国語応用●●、韓国語発展●●、海外保健福祉事情●●	[DP6/CP4b] 海外保健福祉事情●●	[DP7/CP4b]

各年次の教育目標(到達目標・SBOs)

		ディプロマ・ポリシー(DP)							
		[DP1]	[DP2]	[DP3]	[DP4]	[DP5]	[DP6]	[DP7]	
		薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。	問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき、論理的に考え、行動できる。	医療人としての人間理解、国際的感覚を養い、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。	薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養い、他職種との連携を通して薬剤師の役割を理解、実践できる。	保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の情勢を広く理解し、地域に貢献する姿勢と実践能力を有している。	医療の担い手として幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自他ともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。	生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。	
3 年 次	[CP1a]	衛生薬学・医療薬学科目の知識・技能を広く修得する。	[DP1/CP1a] 分析化学Ⅲ、日本薬局方Ⅰ、免疫学、化学療法学、薬理学Ⅲ、薬理学Ⅳ、がん薬物療法学、ゲノム医療、OTC医薬品概論(AL)、漢方医学Ⅰ、医薬品情報学Ⅰ、医療関連法規Ⅰ、生物系薬学実習(AL)、物理薬剤学、薬物動態学、製剤設計とDDS(AL)、衛生化学Ⅱ、環境衛生学、公衆衛生学Ⅱ、衛生系薬学実習(AL)、臨床薬学Ⅰ	[DP2/CP1a] 生物系薬学実習(AL)、医薬品情報学Ⅰ	[DP3/CP1a]	[DP4/CP1a] ゲノム医療、臨床薬学Ⅰ、医療関連法規Ⅰ	[DP5/CP1a] 臨床薬学Ⅰ	[DP6/CP1a] 救急医学、リスクマネジメント論	[DP7/CP1a] 化学療法学、薬理学Ⅲ、薬理学Ⅳ、がん薬物療法学、ゲノム医療、OTC医薬品概論(AL)、漢方医学Ⅰ、医薬品情報学Ⅰ、生物系薬学実習(AL)
	[CP2a]	与えられた課題に関するデータを能動的に収集・分析・考察する能力を修得する。	[DP1/CP2a] 生物有機化学、生物系薬学実習(AL)、医薬品情報学Ⅰ	[DP2/CP2a] 生物有機化学、分子生物学実習(AL)、免疫微生物学実習(AL)、生物系薬学実習(AL)、医薬品情報学Ⅰ、衛生系薬学実習(AL)、薬学演習Ⅲ	[DP3/CP2a]	[DP4/CP2a]	[DP5/CP2a]	[DP6/CP2a]	[DP7/CP2a] 生物系薬学実習(AL)、医薬品情報学Ⅰ
	[CP3a, CP3b, CP4a]	医療コミュニケーションを修得するとともに、多職種の中での薬剤師の役割を実践することで専門領域を超えて問題を探究する姿勢を身につけ、薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養う。	[DP1/CP3a, CP3b, CP4a]	[DP2/CP3a, CP3b, CP4a] 関連職種連携ワーク	[DP3/CP3a, CP3b, CP4a]	[DP4/CP3a, CP3b, CP4a] 関連職種連携ワーク	[DP5/CP3a, CP3b, CP4a]	[DP6/CP3] 関連職種連携ワーク	[DP7/CP3a, CP3b, CP4a]
	[CP4a]	組換えDNA・動物実験教育訓練を通して実習および卒業研究で必要となる研究倫理を理解する。	[DP1/CP4a] 生物系薬学実習(AL)	[DP2/CP4a] 免疫微生物学実習(AL)、生物系薬学実習(AL)	[DP3/CP4a]	[DP4/CP4a] 組換えDNA・動物実験教育訓練(準正規科目)	[DP5/CP4a]	[DP6/CP4a]	[DP7/CP4a] 生物系薬学実習(AL)
	[CP4b]	海外の保健福祉事情を知る。	[DP1/CP4b]	[DP2/CP4b]	[DP3/CP4b]	[DP4/CP4b]	[DP5/CP4b] 薬学演習Ⅲ	[DP6/CP4b]	[DP7/CP4b]
4 年 次	[CP1a]	基礎薬学、衛生薬学、医療薬学を関連付けて修得する。	[DP1/CP1a] 医薬品構造化学Ⅰ、医薬品情報学Ⅱ、医薬品安全性学、臨床検査医学、薬物治療学Ⅰ、薬物治療学Ⅱ、臨床薬物動態学、医療関連法規Ⅱ、実務実習事前演習、臨床薬学Ⅱ、臨床薬学Ⅲ、薬理学実習(AL)、医療系薬学実習Ⅱ(AL)、医療系薬学実習Ⅲ(AL)、臨床薬学Ⅳ	[DP2/CP1a] 臨床薬物動態学、医療系薬学実習Ⅱ(AL)、医療系薬学実習Ⅲ(AL)、臨床薬学Ⅰ、臨床薬学Ⅱ、臨床薬学Ⅲ(AL)、臨床薬学Ⅳ、薬理学実習(AL)	[DP3/CP1a]	[DP4/CP1a] 実務実習事前演習、臨床薬学Ⅲ(AL)、臨床薬学Ⅳ、医療関連法規Ⅱ	[DP5/CP1a] 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識(AL)、臨床薬学Ⅲ(AL)、臨床薬学Ⅳ、臨床薬学Ⅳ	[DP6/CP1a] 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識(AL)、実務実習事前演習、臨床薬学Ⅱ、臨床薬学Ⅲ(AL)、臨床薬学Ⅳ	[DP7/CP1a] 医薬品情報学Ⅱ、医薬品安全性学、臨床検査医学、薬物治療学Ⅰ、薬物治療学Ⅱ、臨床薬学Ⅱ、臨床薬学Ⅲ(AL)、臨床薬学Ⅳ、漢方医学Ⅱ
	[CP1b]	4年次までに修得した知識、技能を活用し、薬物治療を適切に評価する。	[DP1/CP1b] 臨床薬学Ⅱ、実務実習事前演習、医療系薬学実習Ⅰ、医療系薬学実習Ⅱ、医療系薬学実習Ⅲ	[DP2/CP1b] 臨床薬学Ⅱ、臨床薬学Ⅲ(AL)、医療系薬学実習Ⅰ、医療系薬学実習Ⅱ、医療系薬学実習Ⅲ	[DP3/CP1b] 医療系薬学実習Ⅰ、医療系薬学実習Ⅲ	[DP4/CP1b] 医療系薬学実習Ⅰ、医療系薬学実習Ⅱ、医療系薬学実習Ⅲ	[DP5/CP1b] 医療系薬学実習Ⅰ、医療系薬学実習Ⅱ、医療系薬学実習Ⅲ	[DP6/CP1b] 臨床薬学Ⅲ(AL)、医療系薬学実習Ⅱ、医療系薬学実習Ⅲ	[DP7/CP1b] 医薬品情報学Ⅱ、医療系薬学実習Ⅱ、医療系薬学実習Ⅲ
	[CP2a]	自ら問題を発見し、解決に必要なデータを能動的に収集・分析・考察する能力を修得する。	[DP1/CP2a] 医療データサイエンス概論(AL)、医薬品構造化学Ⅰ、臨床薬学Ⅲ(AL)	[DP2/CP2a] 医療データサイエンス概論(AL)、医薬品情報学Ⅱ、フィジカルアセスメント実習(AL)、臨床薬学Ⅱ(AL)、臨床薬学Ⅲ	[DP3/CP2a] 臨床薬学Ⅲ(AL)	[DP4/CP2a] 医療系薬学実習Ⅲ	[DP5/CP2a] 臨床薬学Ⅲ(AL)	[DP6/CP2a] 臨床薬学Ⅲ(AL)、医療系薬学実習Ⅰ	[DP7/CP2a] 医療データサイエンス概論(AL)、医薬品情報学Ⅱ、フィジカルアセスメント実習(AL)、医療系薬学実習Ⅰ
	[CP3a]	医療コミュニケーションを修得するとともに、多職種の中での薬剤師の役割を実践することで専門領域を超えて問題を探究する姿勢を身につけ、薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養う。	[DP1/CP3a]	[DP2/CP3a]	[DP3/CP3a] 医療系薬学実習Ⅰ、医療系薬学実習Ⅲ	[DP4/CP3a] 医療系薬学実習Ⅰ、医療系薬学実習Ⅱ、医療系薬学実習Ⅲ	[DP5/CP3a]	[DP6/CP3a]	[DP7/CP3a]
	[CP4a]	研究倫理講習を通して卒業研究で必要となる研究倫理への理解を深める。	[DP1/CP4a]	[DP2/CP4a]	[DP3/CP4a]	[DP4/CP4a] 研究倫理講習(準正規科目)	[DP5/CP4a]	[DP6/CP4a]	[DP7/CP4a]
5 年 次	[CP1b, CP2b, CP4a]	実務実習(病院・薬局)を通して薬剤師(実習生)としての使命感・倫理観・責任感をもって行動するとともに、臨床で必要となる実践的能力を身につける。	[DP1/CP1b, CP2b, CP4a] 薬局実務実習、病院実務実習、(AL)、関連職種連携実習	[DP2/CP1b, CP2b, CP4a] 薬局実務実習、病院実務実習、(AL)、関連職種連携実習	[DP3/CP1b, CP2b, CP4a] 薬局実務実習、病院実務実習、(AL)、関連職種連携実習	[DP4/CP1b, CP2b, CP4a] 薬局実務実習、病院実務実習、(AL)、関連職種連携実習	[DP5/CP1b, CP2b, CP4a] 薬局実務実習、病院実務実習、(AL)、関連職種連携実習	[DP6/CP1b, CP2b, CP4a] 薬局実務実習、病院実務実習、(AL)、関連職種連携実習	[DP7/CP1b, CP2b, CP4a] 薬局実務実習、病院実務実習、(AL)、関連職種連携実習
	[CP2a]	科学的根拠に基づいて課題を発見したり、問題点を解決する能力を修得する。	[DP1/CP2a]	[DP2/CP2a] 卒業研究	[DP3/CP2a]	[DP4/CP2a]	[DP5/CP2a]	[DP6/CP2a]	[DP7/CP2a]
	[CP3a, CP4a]	英語による医療コミュニケーションを実践する。	[DP1/CP3a, CP4a]	[DP2/CP3a, CP4a]	[DP3/CP3a, CP4a] 臨床薬学Ⅳ	[DP4/CP3a, CP4a]	[DP5/CP3a, CP4a] 臨床薬学Ⅳ	[DP6/CP3a, CP4a]	[DP7/CP3a, CP4a]
6 年 次	[CP1a, CP1b]	薬学に関する全ての知識を統合し、患者に対する適切な薬物治療を選択・実践できる応用力を修得する。	[DP1/CP1a, CP1b] 総合薬学演習Ⅰ、総合薬学演習Ⅱ、(AL)、医薬品構造化学Ⅱ(AL)、薬物治療学Ⅲ(AL)、日本薬局方Ⅱ、医薬品レギュラトリーサイエンス概論(AL)、医療データサイエンス演習(AL)、先進臨床薬学実習	[DP2/CP1a, CP1b] 医薬品構造化学Ⅱ(AL)、薬物治療学Ⅲ(AL)、医薬品レギュラトリーサイエンス概論(AL)、医療データサイエンス演習(AL)、先進臨床薬学実習	[DP3/CP1a, CP1b] 先進臨床薬学実習	[DP4/CP1a, CP1b] 先進臨床薬学実習	[DP5/CP1a, CP1b] 先進臨床薬学実習	[DP6/CP1a, CP1b] 先進臨床薬学実習	[DP7/CP1a, CP1b] 医薬品構造化学Ⅱ(AL)、薬物治療学Ⅲ(AL)、医療データサイエンス演習、先進臨床薬学実習
	[CP2a]	科学的根拠に基づいて課題を発見したり、問題点を解決する能力を修得する。	[DP1/CP2a] 医薬品レギュラトリーサイエンス概論(AL)、医療データサイエンス演習(AL)、先進臨床薬学実習	[DP2/CP2a] 卒業研究、(AL)、医薬品レギュラトリーサイエンス概論(AL)、医療データサイエンス演習(AL)、先進臨床薬学実習	[DP3/CP2a] 先進臨床薬学実習	[DP4/CP2a] 先進臨床薬学実習	[DP5/CP2a] 先進臨床薬学実習	[DP6/CP2a] 先進臨床薬学実習	[DP7/CP2a] 医療データサイエンス演習、先進臨床薬学実習
	[CP2a]	卒業研究発表および実務実習報告会などを通して取り組んだ問題、課題などを業学的知見および科学的根拠に基づいてまとめ、プレゼンテーションする能力を修得する。	[DP1/CP2a]	[DP2/CP2a] 卒業研究、(AL)、薬局実務実習、(AL)、病院実務実習	[DP3/CP2a]	[DP4/CP2a]	[DP5/CP2a]	[DP6/CP2a]	[DP7/CP2a]
	[CP4a]	学内での講義・演習・実習および実務実習(病院・薬局)で養った薬剤師としての倫理観・責任感・使命感を総合的に身につける。	[DP1/CP4a] 総合薬学演習Ⅰ、総合薬学演習Ⅱ、(AL)	[DP2/CP4a] 総合薬学演習Ⅰ、総合薬学演習Ⅱ、(AL)	[DP3/CP4a] 総合薬学演習Ⅰ、総合薬学演習Ⅱ、(AL)	[DP4/CP4a] 総合薬学演習Ⅰ、総合薬学演習Ⅱ、(AL)	[DP5/CP4a] 総合薬学演習Ⅰ、総合薬学演習Ⅱ、(AL)	[DP6/CP4a] 総合薬学演習Ⅰ、総合薬学演習Ⅱ、(AL)	[DP7/CP4a]

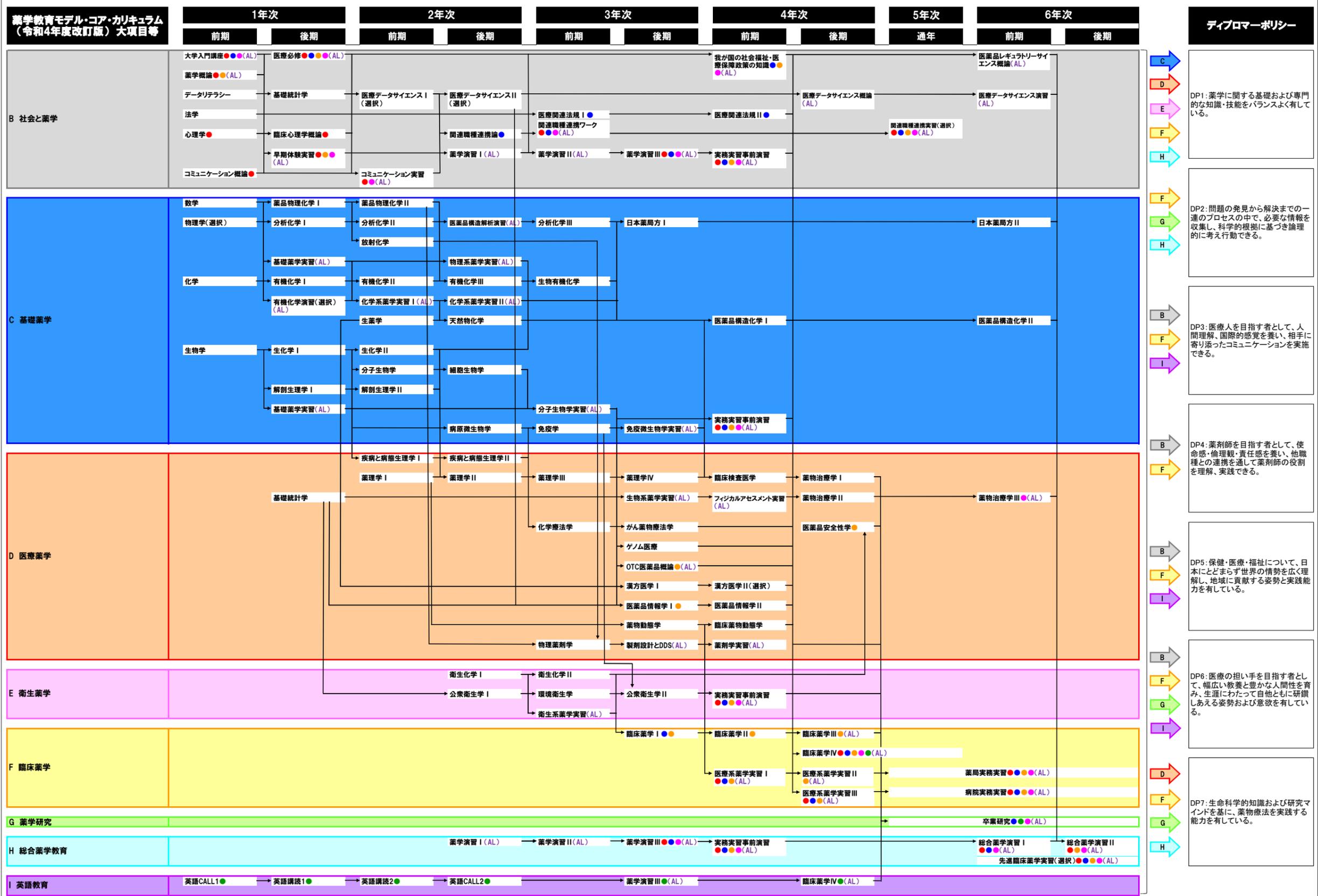
各年次の教育目標 (到達目標・SBOs)

薬学部 薬学科 履修系統図【2024(令和6)年度入学生から】

ディプロマポリシー
 薬学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマポリシーを達成した学生に学位を授与する。
 DP1: 薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。
 DP2: 問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき論理的に考え行動できる。
 DP3: 医療人を目指す者として、人間理解、国際的感覚を養い、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。
 DP4: 薬剤師を目指す者として、使命感・倫理観・責任感を養い、他職種との連携を通して薬剤師の役割を理解、実践できる。
 DP5: 保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の情勢を広く理解し、地域に貢献する姿勢と実践能力を有している。
 DP6: 医療の担い手を目指す者として、幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自他ともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。
 DP7: 生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。

カリキュラムポリシー
 薬学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。
 CP1: a. 薬学の専門家として必要な知識・技能を修得するために、講義、演習、実習を相互に関連付けて科目を配置する。
 b. 薬物治療の実践的能力を高めるために、知識・技能を統合した能動的学修を実施する。
 CP2: a. 問題発見から解決する能力および科学的根拠に基づいた論理的思考力を養うために、問題解決型学修(PBL)をはじめとする能動的学修を講義、演習、実習で実施する。また、参加型実践的科目として卒業研究を配置する。
 b. 薬剤師として臨床での総合的実践能力を身につけるために、参加体験型学修である実務実習を行う。
 CP3: a. 医療人としてのコミュニケーション能力を養成するために、ロールプレイを含む参加型実習を行う。
 b. 薬剤師としての役割を理解するために、他職種との連携教育を実施する。
 CP4: a. 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感および豊かな人間性を涵養するために、スモールグループディスカッション(SGD)等を含めた講義、演習、体験実習を配置する。
 b. 国際的な感覚を養うために、世界の保健福祉事情に触れ、語学能力を高める機会を設ける。
 c. 生涯にわたり自ら研鑽できる医療の担い手になるために、ポートフォリオを用いた形成的自己評価の機会を設ける。
 学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

●: ヒューマンズ教育 (AL): アクティブラーニングを含む
 ●: 医療倫理教育
 ●: 語学教育
 ●: 医療安全教育
 ●: 問題解決能力醸成教育



8-9 留学生の日本語履修条件

8-9-1 開講科目一覧

科目名	配当年次	科目区分・単位数			「外国人のための日本語能力テスト」による単位認定
		必修	選択	自由	
作文・読解Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		
作文・読解Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			
作文・読解Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		BJT または EJU の結果により単位認定
文法・語彙Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		
文法・語彙Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			
文法・語彙Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		JLPT、J. TEST、日本語 NAT-TEST、EJU のいずれかの結果により単位認定
発表・討論Ⅰ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			
発表・討論Ⅱ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		BJT の結果により単位認定
医療福祉専門漢字	1 2 3 4 5 6	1			
医療福祉専門語彙	1 2 3 4 5 6	1			
日本語基礎Ⅰ（初級）	1 2			3	
日本語基礎Ⅱ（初級）	1 2			3	

注 1) 学科ごとの進級条件に従って単位修得をすること

注 2) 単位認定の基準は「D.履修ガイド」の「4-2 単位認定制度」を確認すること

BJT=ビジネス日本語能力テスト（公益財団法人日本漢字能力検定協会 主催）

EJU=日本留学試験（独立行政法人日本学生支援機構 主催）

JLPT=日本語能力試験（独立行政法人国際交流基金、公益財団法人国際教育支援協会 主催）

J.TEST=実用日本語検定（株式会社語文研究社 日本語検定協会・J.TEST 事務局 主催）

日本語 NAT-TEST（株式会社専門教育出版 日本語 NAT-TEST 運営委員会 主催）

8-9-2 日本語科目の区分

必修科目＝必ず履修する科目（留学生全員が卒業要件に必要な単位）

選択科目＝必要に応じて履修する科目（次ページのグループ別に卒業要件単位数が異なる）

自由科目＝必要に応じて履修する科目（卒業要件に含まれない科目、単位取得は可）

8-9-3 日本語科目の履修条件

留学生は、入学時の日本語プレースメントテストの結果に基づき、下記の4グループに分類されます。グループ別に指定された選択科目の履修方法に従い、日本語科目の単位を取得しなければなりません。ただし、自由科目（日本語基礎Ⅰ、日本語基礎Ⅱ）の単位は卒業要件に含まれないので注意してください。

(1) 日本語科目を履修する留学生の全グループ共通の履修条件

必修とされている日本語科目 5 単位を、すべて履修すること。

(2) 日本語科目を履修する留学生のグループ別履修条件

グループ1

選択科目を3単位以上取得すること。

グループ2

選択科目を5単位以上取得すること。

グループ3

自由科目の日本語基礎Ⅰ（初級）を3単位取得後、選択科目を5単位以上取得すること。

グループ4

自由科目の日本語基礎Ⅰ（初級）、日本語基礎Ⅱ（初級）を6単位取得後、選択科目を5単位以上取得すること。

8-9-4 留学生用外国語系科目一覧

授業科目の名称	配当年次	単位数			時間	備 考
		必修	選択	自由		
英語講読 1 (Primary)	1		1		30	
英語講読 2 (Basic)	1 2		1		30	
英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1		30	
英語講読 4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1		30	
英語 CALL1 (Primary)	1		1		30	
英語 CALL2 (Basic)	1 2		1		30	
英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1		30	
英語会話 4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1		30	
聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4 5 6		1		30	
上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4 5 6		1		30	
フランス語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
フランス語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
ドイツ語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
ドイツ語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
スペイン語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
スペイン語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
中国語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
中国語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
韓国語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
韓国語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
韓国語応用	1 2 3 4 5 6		1		30	
韓国語発展	1 2 3 4 5 6		1		30	
作文・読解Ⅰ (入門)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目
作文・読解Ⅱ (応用)	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
作文・読解Ⅲ (完成)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目 (BJT または EJU の結果により単位認定)
文法・語彙Ⅰ (入門)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目
文法・語彙Ⅱ (応用)	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
文法・語彙Ⅲ (完成)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目 (JLPT、J.TEST、日本語 NAT-TEST、EJU のいずれかの結果により単位認定)
発表・討論Ⅰ (応用)	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
発表・討論Ⅱ (完成)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目 (BJT の結果により単位認定)
医療福祉専門漢字	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
医療福祉専門語彙	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
日本語基礎Ⅰ (初級)	1 2			3	90	留学生用日本語科目
日本語基礎Ⅱ (初級)	1 2			3	90	留学生用日本語科目

総合教育科目
外国語系

(注 1)BJT=ビジネス日本語能力テスト(公益財団法人日本漢字能力検定協会 主催)

(注 2)EJU=日本留学試験(独立行政法人日本学生支援機構 主催)

(注 3)JLPT=日本語能力試験(独立行政法人国際交流基金、公益財団法人国際教育支援協会 主催)

(注 4)J.TEST=実用日本語検定(株式会社語文研究社 日本語検定協会・J.TEST 事務局 主催)

(注 5)日本語 NAT-TEST(株式会社専門教育出版 日本語 NAT-TEST 運営委員会 主催)

2021(令和 3)年度以降入学の留学生の外国語系科目は、このカリキュラムを適用する。

留学生の外国語系科目の履修条件は、各学科の卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件で確認すること。

8-10 アセスメント・ポリシー

本学では、教育成果を可視化し、教育改善を実施する目的で、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を踏まえて、教育課程や学生の学修成果を測定・評価する方法（アセスメント・ポリシー）を定めています。測定・評価は入学時から卒業時までとし、機関レベル（大学）・教育課程レベル（学部・学科）・科目レベル（授業科目）の3段階で多面的に実施します。

1. 機関レベル（大学）

学生の卒業率、退学率、志望進路（就職率、進学率）等から教育課程及び学修成果の達成状況を評価します。

2. 教育課程レベル（学部・学科）

学部・学科の所定の教育課程における卒業要件達成状況（単位取得状況、GPA）、資格・免許の取得状況等から教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を評価します。

3. 科目レベル（授業科目）

シラバスで提示された学修目標に対する評価や授業評価アンケート等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を評価します。

○具体的な評価方法等は次の表のとおりです。

一部、各学科により実施していない項目があります。

	入学時 アドミッション・ポリシーを 満たす人材かどうかの評価	在学中 カリキュラム・ポリシーに 則って学修が進められて いるかどうかの評価	卒業時 ディプロマ・ポリシーを 満たす人材になったか どうかの評価
機関レベル (大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・調査書等の記載内容 ・面接、志願理由書等 	<ul style="list-style-type: none"> ・休学率 ・退学率 ・学修行動調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業率 ・学位授与数 ・就職率 ・進学率(主として大学院)
教育課程レベル (学部・学科)	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・調査書等の記載内容 ・面接、志願理由書等 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA[※] ・修得単位数 ・進級率 ・学修行動調査 ・OSCE[※] 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA[※] ・国家試験合格者数 ・国家試験合格率 ・資格取得率 ・進路状況 ・卒業時到達度アンケート
科目レベル (授業科目)	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時基礎学力調査 ・TOEIC Bridge Test 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価(定期試験) ・学修ポートフォリオ ・授業評価アンケート ・TOEIC IP(L&R) 	

※GPA：Grade Point Average 学生が履修登録した科目1単位当たりの成績平均値。

※OSCE：Objective Structured Clinical Examination（客観的臨床能力試験）学生の模擬患者に対するインタビューや臨床の現場に必要な基本的技能の実技を、評価者が観察し、客観的に評価する試験。